



宮司プレス 九十ふろ

彦島八幡宮 宮司 ニューズ

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十六年十月 十八日

◇宮司の柴田です。 秋風颯々(きつさつ)

として、秋深まりゆく昨今であります。皆様大変長らく、お待たせ致しました。宮司プレス第九十六号、五ヶ月ぶりの発行です。ちなみに、宮司プレスは、毎月発行する宮司ニュースというのが、「キヤッチコピー」でありましたが、いつのまにやら、月を隔(へだ)てて、遅れはじめ、季節は、春から夏、そして晩秋へと移ろい、とうとう、「季刊誌(きかんし)」になりつつあります。」という弁明(べんめい)すら出来なくなりました。実は、発行が遅れていることを気にかけている私に、リスペクト(尊敬するという意味です)し、敬慕してやまない方が、「多少遅れてもいいよ。 続けることが肝要だよ。」と、お言葉をかけてくださいました。少々気が楽になりすぎた、油断してしまっただけではないのでしょうか。 まさに、「CRIC(クリック)」となってしまうたのです。発行が遅れているという危機(クライシス)が訪れて、なんとかしなきゃと、慌(あわ)てて月遅れの発行、応急処置をし、(レスポンス)、毎月発行への軌道(きどう)の修正

着く(インブルーブメント)、しかし、また、性懲(しょうこ)りもなく油断をしよう(コンプリセンシー)、そして、再び、遅れるという危機が訪れるという繰り返しの繰り返し。その頭文字を組み合わせると「CRIC(クリック)」、パソコンのマウスをクリック、クリックをしても修正されない状態と同じで、いつまでも改善されないのです。私の不徳の致すところではあります。猛省(もうせい)させていただき、名譽挽回、週刊宮司ニュースの発行という勢いで、アニバサリーであるところの大目標の百号を目指したいと思えます。

◇明治天皇様は、

「さしのぼる 朝日のごとく さわやかに

もたまほしきは こころなりけり」

という御製(ぎよせい)、天皇陛下

下の詠(よ)まれた和歌のことを御製といいますが、残されています。さしのぼる朝日のよなさわやかな心持(こころもち)を、いつまでも忘れずに暮らしたいものだと思えます。私どもは、神様より美しい身体と心を賜っておりますが、世の中の不浄(ふじょう)

なる物や出来事などに触れたり、遭遇(そうご)うしたりして、その美しさを見失ってしまいがちなのです。吉田松陰(よしだ しょういん)先生も、「身清浄(みせいじょう) 心正直(こころしようじき)」と日本人の心がけを説いていらつしやいます。まさに、明治天皇さまが詠まれた「さわやかな心」ではないでしょうか。私も、「さはやかに生きる」という演題で、講演をさせていただくことがあります。が、「さはやか」とは、「沢のやわらかさ、清流の光の輝き」なのだそう。これは、今は亡き作家の藤本義一さんのエッセイに書かれていました。

◇「天正(てんしょう)」という年号、ご存知の方も多しとおもいます。織田信長が明智光秀の謀反(むほん)に斃(たお)れたのも、天正年間でもあります。これは、論語の「清淨は天下を正しと為す」から引用されています。元龜(げんき)という年号から改元(かいげん)されました。いよいよ、今日明日と秋季例大祭です。神様から賜った美しい肉体と心に近づかなければなりません。そのために大切なものが、「お祓(はら)い、お清(きよ)め」です。◇祝詞のなかには、「恐(かしこ)み、さらに「白(もう)す」という言葉を幾度(いくど)となく奏上(そうじょう)します。「恐(かしこ)み」と「敬(けい)」のミックスした心です。大自

然は、厳しい爪痕（つめあと）を残しと尊い人の命さえも奪ってしまいます。そのような状況を目の当たりにしてはじめて、人間も大自然の一員に過ぎないことを思い知らされます。

まさしく、「厳父（げんぷ）」です。正しく恐れなければなりません。しかし、花鳥風月（かちようふうげつ）、心をなごめてくれますし、豊かな恵みを与えていただけます。これこそ

「慈母（じぼ）」、感謝の心で、敬わなければなりません。その忘れてならない大切な心が、「恐み」です。しかも、心の底から白状している、「心正直」に申し上げるから、「白す」なのです。もつともつと、我々は謙虚になるべきなのです。その謙虚な心である「さわやかな心」、清流の光の輝きのような心になるために必要なのが、「清め」、つまりは、論語の「清浄」ではないでしょうか。

◇自分が清浄に近づけば、自（おの）ずと家族も清まり、さらに、地域社会、やがては国家も清まり、運命共同体としての地域社会が構築できるのではないのでしょうか。この二日間、「身清浄 心正直」で全身全霊（ぜんしんぜんれい）でしっかりと御奉仕申し上げ、「さわやかな心」を取り戻し、「天正」という年号の意味に近づきたいものです。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

◇五月から九月までの祭典行事報告

▼塩釜神社（塩浜町）例祭 *五月四日

▼衣替え *五月六日

▼福浦金刀比羅宮例祭 *五月十七日、十八日

▼恵比寿神社（海士郷町）例祭 *六月十日

▼大祓式 *六月三十日

▼六連島八幡宮七社祭 *七月九日

▼ヒコツトランドマリナーチ海開祭 *七月十五日

▼夏越祭

▼本宮 *七月二十九日～三十日

▼田の首八幡宮 *七月二十四日

▼六連島八幡宮 *七月二十五日

▼恵比寿神社 *七月三十一日

▼まほろば学級 *八月三日

▼若宮神社例祭 *九月五日～六日

▼観月祭 *九月十八日

▼貴布禰神社例祭 *九月二十二日～二十三日

▼祖霊祭 *九月二十三日

◇五月からの宮司の行事会議等活動報告

▼維蘇志会草刈例会 *六月六日

▼中国地区氏青神合同研修会 *六月七日～八日 鳥取県皆生温泉

▼維蘇志会八月例会 *八月二日

▼神社庁役員会 *五月十四日 *七月四日

▼中国地区社頭講話研修会

▼五月二十二日～二十三日

▼神職大会、教学研究部会議 *六月三日

▼支部幹事会 *六月五日、九月二十七日

▼神社庁定例協議員会 *六月二十日

▼巡回社頭講話研修会 *六月二十四日

※萩市、松陰神社にて開催

▼対北九州神職会との親睦野球大会 *六月二十七日

※北九州市の飛幡八幡宮にて開催

▼神宮大麻対策会議 *七月二十四日

▼支部三役会 *八月一日 *九月二十五日

▼神職養成講習会講義 *八月二日他

▼支部総会 *八月二十六日

▼神職養成講習会成績判定会議、教学研究部会議 *八月二十七日

▼神職養成講習会閉講式、役員会、神宮大麻対策会議 *八月二十八日

▼神社関係者大会 *九月十二日

▼人権相談 *八月七日

▼美祢社会復帰促進センター教誨 *五月二十六日、七月十四日、九月二十九日

▼五月十二日、七月二十八日、九月八日

▼JA彦島悠々くらぶ *五月十六日

▼山口県神社庁山口支部総代会講演 *五月二十日

▼玄洋中PTA講演 *七月二十五日